allcinema

鏡の中の女（1976）

FACE TO FACE
ANSIKE MOT ANSIKTE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スウェーデン
時間 119分
初公開日 1982/06/26
公開情報 東宝東和

【解説】
「ある結婚の風景」の主演コンビで、よりシリアスにベルイマンが問いかけるのは現代人の苦悩。監督が人間存在の根源的な問題として提出しているのは、主人公の精神科の女医（ウルマン）の、患者や夫、肉親との関係の中にあぶり出されてくる彼女自身の罪の意識、あるいはトラウマかも知れない幼児期の記憶、年をとっていくことへの恐れ、という人間が必ずや精神に内包しているであろう“傷”である。邦題の“鏡の中の女”とは自分を見つめる自分（しかしそれは悲しいかな左右が全く逆なのだ）の事である。日常の中に突如として入り込む幻想の描写がスリリングで、鋭く感覚的な映像は監督一流ものである。オリジナルはＴＶ作品だが、その版は日本未放映（「ある結婚の風景」も同様だが、こちらは放映済み）。

【クレジット】

監督	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
製作	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
脚本	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist
音楽	チェービー・ラレティ	
出演	リヴ・ウルマン	Liv Ullmann
	エルランド・ヨセフソン	Erland Josephson
	グンナール・ビョルンストランド	Gunnar Bjornstrand
	レナ・オリン	Lena Olin

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.